

奈良女子大学文学部公開講座

# 奈良の舞とおどり

## —生活を彩る聖なる遊び—

講師：平井タカネ 先生（身体表現学）

奈良女子大学文学部名誉教授、  
名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授

内容：1300年の歴史を誇る奈良の地には、東大寺や春日大社をはじめ多くの神社や仏閣で今もなお四季折々に伝統の行事が継承されている。同時に一方ではリニア新幹線を通すなどの話題も聞こえるように、現代科学による生活の高度化や高速化を志向する側面もある。

すなわち、奈良の特徴は21世紀の今日の人びとの日常生活の中で1000年も前の古い日常が極めて自然に再現されていることであろう。

今回は主として寺院や神社に伝わる聖なる遊びとしての舞や踊りに焦点を当てて、それらに込められた当時の人びとの想いが今日の奈良の日常を鮮やかに彩る姿をみてみたい。

日時：2013年2月26日（火）午後2時～5時

場所：奈良女子大学 N棟3階 N302教室

◎参加費無料◎ 参加申し込み先着順（80名）  
申込先：奈良女子大学学務課文学部係 0742-20-3699

共催：文学部なら学プロジェクト